



TASSTAを活用した公共交通機関におけるルート監視及びリアルタイムコミュニケーション

公共交通システムには、バス、トラム、地下鉄など、さまざまな移動手段が含まれます。これらの公共交通は通常、有料で、時刻表に基づいて運行されます。多くの公共交通事業者は、利用者数の増加と自動車利用の低減を目的としてサービス拡充に取り組んでおり、これは交通渋滞や環境汚染の軽減にもつながります。公共交通システムは多くの場合、自治体または広域レベルで導入され、行政施策による支援を受けています。TASSTAのソリューションは、すべての運転士と指令センター間のコミュニケーションを円滑にする幅広い機能を提供します。また、運行中の車両位置を体系的に把握する仕組みも備えています。



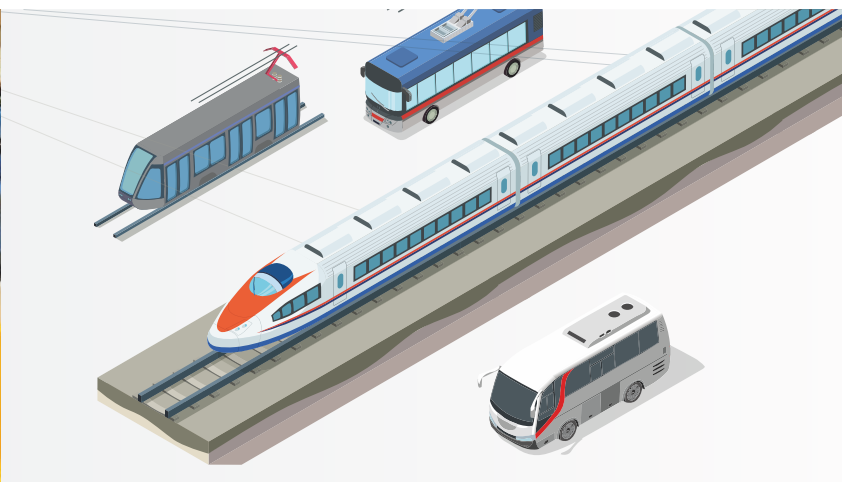
ケーススタディ：公共交通



市場課題

公共交通の運転士は決められた路線とダイヤに従って運行し、人々をA地点からB地点へ正確かつ効率的に輸送することに集中しています。公共交通は24時間稼働する業態で非常に多忙な場合もあり、効率性と定時運行の維持が求められます。これを実現するには、運転士同士、保守要員、指令担当と常時連絡可能な堅牢な通信ネットワークが必要です。公共交通

は自家用車より安全性が高く、利用者と環境の双方にとってメリットのある移動手段とされています。TASSTAのソリューションはこの価値をさらに高め、乗客・運転士・運行に関わるすべての関係者の安心と快適性を向上させます。



ソリューション

TASSTAは無線システム統合のバックグラウンドを持つソフトウェア開発会社で、高度な通信・運用管理・セキュリティ機能を備えた革新的なプッシュ・トゥ・トーク (PTT) ソリューションを開発しています。TASSTA T.Bridgeは、あらゆる業務用無線ネットワークとTASSTA T.Flexを統合するプロフェッショナル向けミドルウェアで、通信をより安全かつ業務向けに最適化します。TASSTA T.Bridgeにより、車両、運転士、管制センターは音声およびデータ通信の統合パッケージを利用できます。グループ通話や個別通話といった無線の基本機能に加え、GPS測位、データ通信、メッセージ、タスク管理など多彩な機能が提供されます。TASSTAは既存のモバイルネットワークを活用し、T.Bridgeゲートウェイを組み合わせることで、携帯通信障害に備えた冗長構成を実現します。例えば

DMR無線システムをネットワーク中核の非常用通信として組み込み、TASSTA T.Bridgeで両ネットワークを接続することも可能です。TASSTA T.Flexモバイルアプリにより、運転士間で常時連絡を取り合うことができ、T.Rodonが場所を問わず指令センターからT.Flexユーザーの活動を統合管理します。T.FlexはAndroid/iOSのモバイル端末や固定端末にインストールできるため、追加の無線機や通信機器を購入する必要はありません。運転士は個人のスマートフォン、会社支給端末、または車載コンピュータ上でTASSTAを利用できます。GPS測位により、ユーザーの正確な位置を把握でき、指令センターでは車両や走行ルートをリアルタイムで追跡可能です。GPS追跡により走行履歴も取得でき、情報はTASSTAサーバーに保存されます。

TASSTAは、公共交通事業者特有の複雑な通信要件に最適です。モバイル端末をバーチャル無線機として利用でき、通常の無線と同様の操作感で、高度な通信・緊急機能を簡単に設定できます。